

教授会議事録(案)

日時：平成 19 年 2 月 13 日（火）14 時 05 分から 16 時 26 分

場所：電気通信研究所大会議室

出席者：議長（所長）他教授 25 名、助教授 15 名

議事に先立ち、事務部長から、平成 19 年 1 月 12 日付け人事異動に伴う経理課長の紹介があった。

議事録の確認

平成 19 年 1 月 9 日（火）開催の定例教授会議事録について、原案のとおり承認した。

I. 報告事項

1. 学内外諸会議等報告

(1) 部局長連絡会議及び部局長懇談会

所長から、1 月 23 日に開催された部局長連絡会議及び部局長懇談会について、下記の報告があった。

- ① 平成 20 年度大学評価・学位授与機構の実施する教育・研究活動評価の概要と対応(案)について
- ② 組織変更について
このことに関連して、電気通信研究所の研究基盤技術センターの設置が了承されたとの付言があった。
- ③ 東北大学と七十七銀行との連携協力について
- ④ 青葉山新キャンパス整備事業について
- ⑤ スマートエイジングプログラムについて
このプログラムは、第 2 期知的クラスター創生事業として、申請を予定しているものであるとの付言があった。
- ⑥ 海外インターンシップのパイロット事業の実施について
- ⑦ 次世代スーパーコンピューターについて
引き続き、部局長懇談会について、下記の報告があった。
- ⑧ 世界トップレベル研究拠点（トップ 30）について
- ⑨ 平成 20 年度特別教育研究経費について

(2) 教育研究評議会

1 月 23 日に開催された教育研究評議会について、下記の報告があった。

- ① 東北大学名誉教授の称号授与について
- ② 組織変更について
- ③ 研究活動における不正行為への対応ガイドラインについて
- ④ 教員組織の整備にあたっての全学的共通事項の確認検討について

(3) 百周年記念事業代表者連絡会議

1 月 24 日に開催された百周年記念事業代表者連絡会議について、下記の報告があった。

- ① 百周年記念展示企画として、平成 19 年 11 月 2 日（金）～12 月 9 日（日）に、仙台市博物館を会場に行う記念展示には、平成 19 年 9 月 1 日（土）～10 月 14 日（日）に江戸東京博物館を会場に行う記念展示と同様の展示を行うこと。仙台市博物館を会場に行う記念展示を盛り上げるために各部局にイベントの企画を募集していたところ、通研、金研、女性研究者育成支援推進室及び附属図書館からの 4 件の応募があったこと。
- ② 百周年記念募金について、企業のトップに会う機会があったら募金を依頼してほしいこと。
なお、依頼文書は、事務にあるので活用願いたいこと。
- ③ 8 月 27 日に開催する記念式典の招待者を 1000 名程度と考えており、そのうち部局からの招待は

250 名程度で、通研は 12 名程度となる予定であること。

(4) 研究推進審議会

1 月 31 日に開催された研究推進審議会について、下記の報告があった。

- ① 研究活動における不正行為への対応ガイドラインについて
- ② 外部資金で雇用する研究職員のエフォート管理ガイドラインについて
- ③ 平成 18 年度アジア・アフリカプログラム (AAP・アジア) の審査結果について
- ④ 共同領域研究推進センター (クレス) の設置について
- ⑤ 共同研究の間接経費の見直しについて

(5) 国際高等研究教育院運営専門委員会

配付資料に基づき、国際高等研究教育院の「修士研究教育院生」の募集について、M1 に周知してほしいとの依頼があった。

(6) 学生生活協議会学寮専門委員会

平成 19 年 4 月に開設するユニバーシティ・ハウス三条の大学院生の入寮枠に若干の余裕があり、留学生、日本人学生どちらも入寮可能なので、学生に周知してほしいこと。

(7) 男女共同参画委員会

配付資料に基づき、平成 18 年度男女共同参画委員会報告書作成のために提出する電気通信研究所の活動報告案について説明及び提案があり、了承した。

(8) 附属図書館商議会

1 月 30 日に開催された附属図書館商議会について、下記の報告があった。

- ① 平成 19 年度総長裁量経費に電子ジャーナルの全学共同購入分、及び営繕を要求したこと。
- ② 博士論文及び修士論文の東北大学機関リポジトリ運用指針について
- ③ Eブックについて
- ④ 平成 19 年度電子ジャーナルの共同購入の部局負担の算出方法について

2. 運営会議等報告

(1) 研究企画戦略室

グローバル COE について、1 月 31 日の総長ヒアリングを経て、2 月 8 日に本部に提出したこと及び、文部科学省へは 2 月 15 日に提出予定であるとの報告があった。また、今後の予定についても報告があった。

なお、3 月若しくは 4 月に資料に基づき説明したいとの付言があった。

(2) 安全衛生委員会

1 月 23 日に開催した安全衛生委員会について、下記の報告があった。

- ① 廃液保管庫付近に消火器を配置することとしたこと。
- ② 昨年 4 月の労働安全衛生法改正に伴い、長時間労働者に対する面接指導が義務づけられたこと。対象者には裁量労働制対象の教員も含まれており、長時間労働による脳・心臓疾患及びうつ病等の健康障害の早期発見のためであること。面接指導の結果に対する対処方法については、来月決定することとしたこと。
- ③ ガラス器具を使用する実験で学生が怪我をしたことから、実験時の指導を徹底してほしいこと。

(3) 建物環境委員会

委員長から、配付資料に基づき、平成 19 年度の建物使用計画について説明があった。なお、新年度の共通研究スペースの借用の申込みについては、新分野が 2 分野新設される見込みであるので、貸出しスペースに余裕がなく厳しい状況であること。

(4) 移転対応プロジェクト委員会

委員長から、プロジェクターにより、12 月 22 日現在の基本設計案について説明があった。

なお、低振動室に隣接して、ポンプ室等の振動が発生する部屋があるのは問題ではないかとの意見

があったが、現在は基本設計の段階なので、詳細設計時に調整可能であること。また、平成 19 年度中には、詳細設計を決定する必要があるとの付言があった。

(5) ブレインウェア実験施設

施設長から、2月6日に開催したブレインウェア実験施設運営委員会において、平成 19 年度以降の運営委員、運営委員長及び施設長の選出について審議したこと。運営委員及び運営委員長は、現委員が継続することとしたこと。施設長については、本日の協議事項で諮ること。

また、平成 19 年 4 月に新設するマイクロアーキテクチャ研究部を、ブレインウェア実験施設の所属とすることについて検討したこと。

(6) 学部教務委員会

1月30日に開催された系内学部教務委員会の通研関連事項について、配付資料により報告があった。

(7) 通研部局史編纂委員会及び通研部局史編纂委員会 WG

1月末に通研が掲載されている「百年史7部局史4」が出版されたことから、通研部局史編纂委員会及びWGは所期の目的を達成したので、解散したいとの提案があり、承認した。

3. その他

(1) 学生の受賞について

議長から、配付資料に基づき、学生の受賞について報告があった。

(2) 受託研究の受入れについて

議長から、配付資料に基づき、受託研究の受入れについて報告があった。

(3) 民間等との共同研究の受入れについて

議長から、配付資料に基づき、民間等との共同研究の受入れについて報告があった。

II. 協議事項

1. 助教授人事について

人間情報システム研究部門 先端音情報システム研究分野助教授候補者について、配付資料に基づき詳細な説明の後提案があり、投票を行った結果承認した。

2. 教育研究評議員の選出について

議長から、現教育研究評議員である矢野教授の辞任に伴う欠員補充選挙を行うとの発言があり、選出方法について説明の後、選挙を実施した結果、大野教授を教育研究評議員候補者（任期：平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）に選出した。

3. 電気通信研究所規程の一部改正について

4. 電気通信研究所研究基盤技術センター内規の制定について

総務課長から、配付資料に基づき、関連する 3. 4. の協議事項について一括して説明があり、承認した。

なお、予算委員会委員長から、研究基盤技術センターの設置にあたり予算措置が必要であれば、要求してほしいとの発言があり、平成 19 年度からの予算については、現技術部長である所長と研究基盤技術センター長が検討することとした。

5. ブレインウェア実験施設長について

施設長から、次期のブレインウェア実験施設長を現施設長が継続することとしたいとの提案があり、承認した。

6. 産学官連携研究員の任用について

議長から、配付資料に基づき、産学官連携研究員の任用について提案があり、承認した。
なお、法人化後の教授の任用形態について整理して、報告することとした。

7. 研究支援者の任用について

議長から、配付資料に基づき、研究支援者の任用について提案があり、承認した。

8. 中国科学院半導体研究所との学术交流協定について

ナノエレクトロニクス国際共同研究拠点創出事業の一環として、中国科学院半導体研究所との部局間学术交流協定を締結したいとの提案があり、承認した。

9. 委員会等委員の選出について

議長から、配付資料に基づき、改選が必要となる委員会等委員について説明があり、承認した。

なお、次期候補者の選出方法についてルール化してほしいとの発言があり、所長からは、いくつかの負担の大きい委員会委員の選出方法についてはルール化しているが、全てをルール化するのは難しいので了解願いたいとの発言があった。

10. その他

(1) 平成 19 年度通研公開（片平まつり）の基本方針について

通研公開実行委員会委員長から、平成 19 年度通研公開（片平まつり）の基本方針について、配付資料に基づき提案があり、承認した。

なお、AO 入試面接を実施した際、オープンキャンパスや出前授業が学生の志願に大きい影響を与えていると感じたので、通研公開は電気系の人気を回復し志願者を増やすために、重要な行事であるとの発言があった。

III. その他

(1) 平成 19 年度教授会等日程について

議長から、平成 19 年度教授会等日程について、配付資料に基づき報告があった。

(2) 電気・情報東京フォーラムについて

委員長から、東京フォーラム 2007 を、11 月 14 日（水）10:00~20:00 に東京国際フォーラムを会場に実施する旨の報告及び協力依頼があった。なお、実施方法については、平成 17 年度開催の東京フォーラムを踏襲し、講演会、展示、先端技術セミナー及び懇親会を行う予定であること。

(3) 「RIEC リエゾンフォーラム」について

配付資料に基づき、RIEC リエゾンフォーラムを、2 月 23 日（金）にナノ・スピ棟 4 階カンファレンスルームで開催することの案内、及び出席について依頼があった。

このことに関連して、リエゾンプログラムを実施していくためには、個人の研究者に負担をかけないように、組織として責任を持って継続していくことが重要であるとの意見があり、所長からは、重要な指摘であり、同様に考えているので、そのことも含めて昼食懇談会の場を利用して相談したいとの付言があった。

なお、今回、名称を「RIEC リエゾンフォーラム」と称したのは、RIEC を通研のブランドネームとして、国外に通用する世界語にしたいとの希望からであるとの説明があった。

(4) 「ICT Dreams」の発行について

「ICT Dreams」の原稿が全員から提出され現在印刷所へ入稿しており、2 月 20 日を目途に校正を行い、3 月中旬に発行の予定であるとの報告があった。

(5) 2 号館北側外壁塗装及び窓枠改修工事について

経理課長から、2 月下旬から 3 月下旬に 2 号館北側外壁塗装及び窓枠改修工事を実施するとの報告があった。

(6) 国費外国人留学生給与の取扱いについて

総務課長から、平成 19 年度国費外国人留学生給与の単価改定について、下記の報告があった。

① 研究留学生及び教員研修留学生

170,000 円 (平成 18 年度 172,000 円) (平成 19 年 4 月から実施)

ただし、渡日後 13 月目以降の者は 160,000 円 (平成 19 年 10 月から実施)

② 学部留学生

134,000 円 (平成 18 年度同額)

ただし、渡日後 25 月目以降の者は 126,000 円 (平成 19 年 10 月から実施)

(7) 大阪大学産業科学研究所との研究交流会について

大阪大学産業科学研究所との研究交流会を、3 月 2 日 (金) 13:00 からナノ・スピ棟 4 階カンファレンスルームにおいて公開で実施する旨の報告、及び出席依頼があった。

(8) 教授会懇談会について

教授会懇談会幹事長から、教授会懇談会を 4 月若しくは 5 月の教授会後に開催したいとの報告があった。

(9) 次回の開催について

平成 19 年 3 月 13 日 (火) 14:00 から開催することとした。